

三条商工会議所景況調査概況

【令和4年10月～12月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和5年1月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 329 商工会議所が 2,522 企業にヒアリング。回答数 1,980 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 235 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

1月の全産業合計の業況DIは、▲18.4（前月比±0ポイント）

建設業では、設備投資や住宅関連の民間工事が堅調に推移し、業況が改善した。また、小売業では、初売りが好調だった百貨店を中心に、業況が改善した。一方、サービス業では、年始の感染拡大で、新年会のキャンセルが発生した飲食店が全体を押し下げ、業況が悪化した。また、製造業や卸売業では、外需減退により受注数が減少した電子部品関連を中心に業況が悪化した。経済活動が正常化に向かう一方、原材料・エネルギー価格の高騰、人手不足に伴う人件費等、負担するコストは増加が続いている。コスト増に見合う価格転嫁も十分に行えておらず、中小企業の業況は、横ばいに留まった。

先行き見通しDIは、▲19.8（今月比▲1.4ポイント）

経済活動の回復により、設備投資等の受注増への期待感が建設業や卸売業でうかがえる。一方、業種を問わず、人手不足による受注機会の損失や、高騰が続く電気代等によるコスト負担増を危惧する声が聞かれた。不安定な為替動向等で企業経営が安定しない中、物価高による消費マインドの低下や、欧米等の世界経済の鈍化による外需のさらなる減退も懸念され、中小企業の先行きは厳しい見方が続く。

全国の1月産業別業況

【建設業】

「民間の建設工事は受注数が増加傾向にあり、経済活動の回復が見受けられる。一方、土木工事等の公共工事は減少傾向が続いており、引き続き先行きは不安定な状態が続いている。資材価格の高騰で、価格競争も激しくなっているため、採算も悪くなっている」（一般工事業）、「受注数が伸びている一方、専門的な技術者が不足しており、工期遅れが発生。その間に資材価格が値上がりするため、利益確保が難しい」（建設工事業）

【製造業】

「原材料価格の高騰に伴い、顧客に対して販売価格の値上げ交渉を行い、転嫁を実施することができた。一方で、消費マインドの低下で受注数は減少している。今後、再び原材料の値上げが発生した際に、販売価格も同様に上げることができるか懸念している」（調味料製造業）、「電気代の高騰が著しく、省エネ化に向けた設備投資を行ったが、コストの削減が追い付いておらず、収益を圧迫している」（金物類製造業）

【卸売業】

「人の動きは活発になっているが、物価高により消費者が買い控えに動いており、取引先の小売店からの引き合いが減少傾向。加えて、輸送費等のコストは上昇が続いており、売上が落ちている中でコストが上がり、利益が確保できない」（衣類・日用品卸売業）、「仕入価格の上昇分は、販売価格に転嫁できている。一方で、エネルギー価格や人件費も増加しているため、利益率は悪化している」（鉱物金属卸売業）

【小売業】

「3年ぶりの行動制限のない年始で客数が改善、売上も初売りが好調で改善となった。小幅ではあるが、インバウンドの回復による外国人観光客による免税品や高付加価値商品の需要も回復基調にあり、今後の売上改善に期待している」（百貨店）、「物価の上昇により、消費者の購買意欲が低下している。生活必需品を最低限購入するだけとなり、経営改善が見込まれない」（服飾品小売業）

【サービス業】

「生産性向上に向けた企業のIT化により、売上は好調を維持している。一方で、人手不足が続いており、人件費の増加で開発にかかるコストは増加が続いている。今後も受注数の増加が見込まれており、対応に向けた人材採用を積極的に行っていきたい」（ソフトウェア業）、「電気代の高騰が続く中で、新年会の予約キャンセルが相次ぎ、売上・採算ともに悪化が継続し、厳しい状況が続いている」（飲食店）

【令和4年10月～12月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和3年度第3四半期(R3年10～12月)比(以後前年同期比という)では▲20(前期差5ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲13(前期差4ポイント増)、製造業が▲25(前期差9ポイント減)、卸売業が▲35(前期差10ポイント減)、小売業が▲39(前期差5ポイント減)、サービス業が+14(前期差6ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業はDI値が回復したが、製造業、卸売業、小売業、サービス業はDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲13(前期差4ポイント増)、採算DIは▲17(前期差3ポイント増)、売上額DIは▲10(前期差7ポイント増)、従業員DIは▲10(前期差8ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲25(前期差9ポイント減)、採算DIは▲22(前期差8ポイント増)、売上額DIは+4(前期差12ポイント増)、従業員DIは+5(前期差6ポイント増)となり、採算DI、売上額DI、従業員DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲35(前期差10ポイント減)、採算DIは▲28(前期差9ポイント減)、売上額DIは▲26(前期差2ポイント増)、従業員DIは▲9(前期差16ポイント減)となり、売上額DIは増加したが、業況DI、採算DI、従業員DIは減少で推移した。

【小売業】

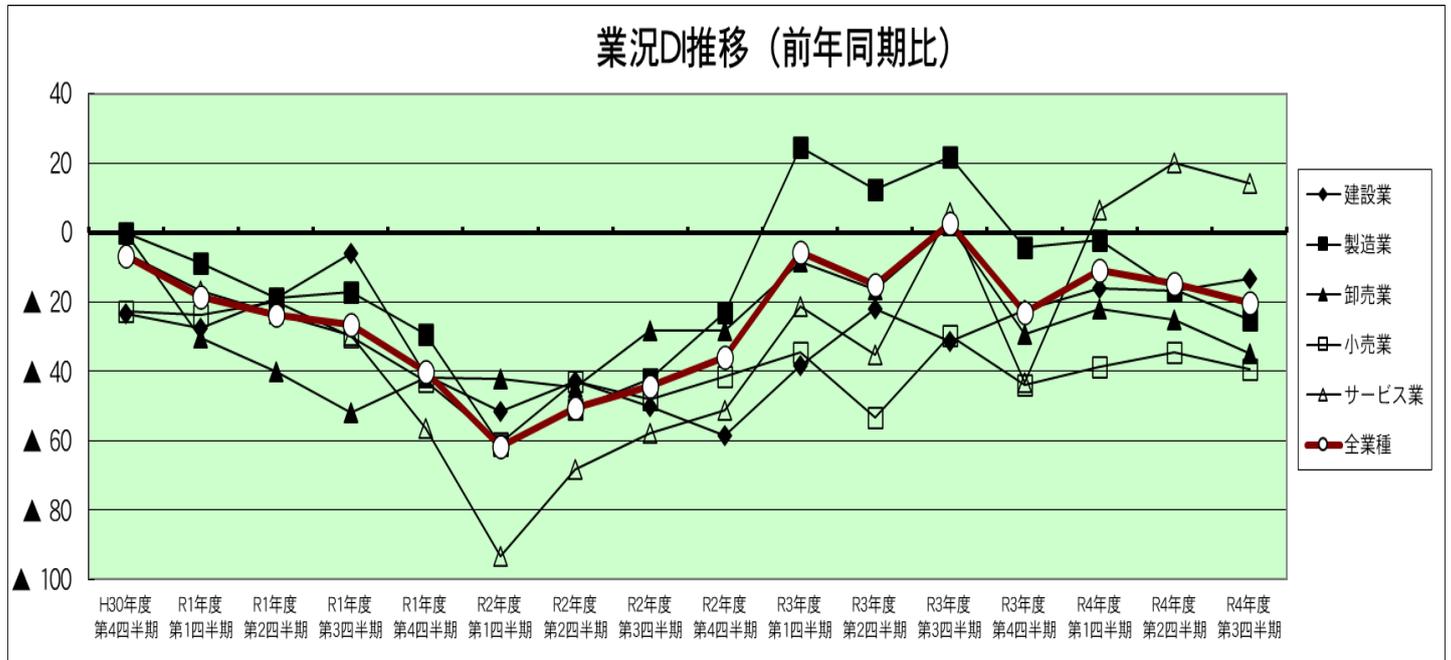
小売業では、前年同期比の業況DIは▲39(前期差5ポイント減)、採算DIは▲36(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲39(前期差11ポイント減)、従業員DIは±0(前期差7ポイント増)となり、採算DI、従業員DIは増加したが、業況DI、売上額DIは減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは+14(前期差6ポイント減)、採算DIは+21(前期差13ポイント増)、売上額DIは+19(前期差8ポイント減)、従業員DIは▲5(前期差3ポイント増)となり、採算DI、従業員DIは増加したが、業況DI、売上額DIは減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H30年度	R1年度				R2年度		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
全業種	▲ 7	▲ 19	▲ 24	▲ 26	▲ 40	▲ 62	▲ 51	▲ 44
建設業	▲ 23	▲ 28	▲ 19	▲ 6	▲ 41	▲ 52	▲ 43	▲ 50
製造業	0	▲ 9	▲ 19	▲ 17	▲ 29	▲ 61	▲ 51	▲ 42
卸売業	0	▲ 30	▲ 40	▲ 52	▲ 42	▲ 42	▲ 44	▲ 28
小売業	▲ 23	▲ 24	▲ 20	▲ 30	▲ 43	▲ 61	▲ 43	▲ 48
サービス業	▲ 6	▲ 17	▲ 23	▲ 30	▲ 56	▲ 93	▲ 68	▲ 58
	R2年度	R3年度				R4年度		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
全業種	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20
建設業	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13
製造業	▲ 23	25	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25
卸売業	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35
小売業	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39
サービス業	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7	20	14

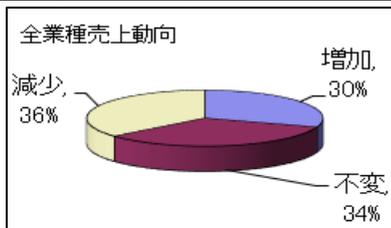


令和4年度 第3四半期(2022年10月～12月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

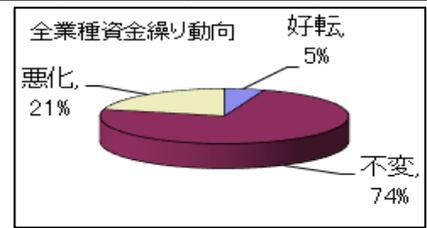
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	71	79	85
	%	30%	34%	36%
建設業	件数	6	15	9
	%	20%	50%	30%
製造業	件数	34	25	30
	%	38%	28%	34%
卸売業	件数	7	20	19
	%	15%	43%	41%
小売業	件数	4	9	15
	%	14%	32%	54%
サービス業	件数	20	10	12
	%	48%	24%	29%



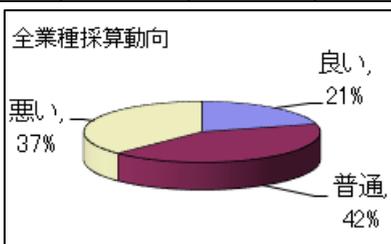
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	12	171	49
	%	5%	74%	21%
建設業	件数	0	23	7
	%	0%	77%	23%
製造業	件数	8	63	17
	%	9%	72%	19%
卸売業	件数	0	39	7
	%	0%	85%	15%
小売業	件数	0	17	11
	%	0%	61%	39%
サービス業	件数	4	29	7
	%	10%	73%	18%



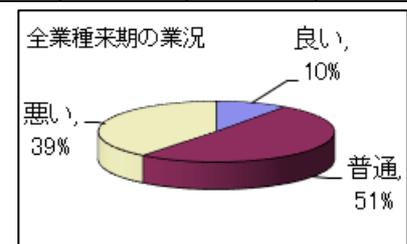
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	49	98	88
	%	21%	42%	37%
建設業	件数	6	13	11
	%	20%	43%	37%
製造業	件数	16	37	36
	%	18%	42%	40%
卸売業	件数	7	19	20
	%	15%	41%	43%
小売業	件数	3	12	13
	%	11%	43%	46%
サービス業	件数	17	17	8
	%	40%	40%	19%



業種別来期(2023.1～3月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	19	98	76
	%	10%	51%	39%
建設業	件数	1	13	11
	%	4%	52%	44%
製造業	件数	11	36	28
	%	15%	48%	37%
卸売業	件数	2	17	19
	%	5%	45%	50%
小売業	件数	1	13	6
	%	5%	65%	30%
サービス業	件数	4	19	12
	%	11%	54%	34%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>